

地質ニュース

昭和 55 年 7 月

第 311 号

1980

特集	地質リモートセンシング.....	長谷川 和文 村田 宏毅 月鎌 洋文 田 紘	6
	陥没カルデラに由来する環状地形構造の評価.....	村岡 洋文 長谷 紘	7
	地殻構成物質広域理解のためのリモートセンシング..... —赤外線波長域における岩石・鉱物の分光特性—	鎌田 浩毅 月村 勝宏	30
	画像データ解析 解釈過程の分析..... —リニアメント解析を例に—	長谷川 和文 月鎌 田 浩毅	44
	断裂系評価のための光学—電子フーリエ解析法.....	村岡 洋文 長谷 紘	52
海外事情	アメリカ合衆国以外のLANDSAT データの利用について	松野 久也	51
	伊予鹿島及宿毛 IYOKASHIMA and SUKUMO.....	田中 啓策	60

口 絵 鳩山受信局で得られた最近のランドサット画像データから

編集 地質調査所

表紙の写真

日本列島の Landsat 画像モザイク

Landsat シリーズの衛星が1972年に打ち上げられてから8年以上の歳月が経過した。1978年2月にはわが国にも地上受信施設が完成し、日本列島全域を含むアジア東端域のリアルタイム画像データ受信が可能となった。このモザイクは地質調査所が地質標本館リモートセンシングコーナーのために作成したものである。宇宙開発事業団鳩山村の受信施設でキャッチされた最近の画像も利用されているが、温帯地域に位置するわが国では完全に雲の被覆のないシーンが揃うのはまだ先の話である。衛星打上国 米合衆国 EROS データセンターではシーンの蓄積が進み、1981年から雲量30%以下のデータのみを収録するよう選り分けのための準備が進められている。

発行 株式会社 実業公報社